

編集後記

石川県立看護大学年報は、本学の教育・研究・地域貢献の実績を学外にわかりやすく提示することをめざしています。平成 26 年度に内容構成を見直したので、今年度(27 年度)は大きな変更はなく、一部の標記方法を見やすいようにしたくらいです。内容は、例年通り中期計画・年度計画の概要や、それらを基に看護学部、大学院看護学研究科、附属図書館、附属地域ケア総合センター、附属看護キャリア支援センターでどのような活動が行われたかについて、大学全体で他機関と連携し実施した活動、教職員個々の学内外での役割や活動等の報告です。平成 27 年度の特徴としては、次の新たな活動が挙げられるかと思います。本学は、国際交流の推進としてアメリカのワシントン大学、韓国の全北大学校看護大学と覚書を交わしていますが、新たに中国の吉林大学看護学院と南京中医薬大学と提携覚書を締結しました。また、新たに韓国の全北大学校看護大学・全羅北道庁の協力を基に学生対象の海外看護研修を実施しました。さらに、「金沢・加賀・能登で地域思考型による夢と志を持つ人材育成」(文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」採択事業/金沢大学を中心に本学を含む7協力大学で実施)が新たにスタートしたことも挙げられます。

年報作成により 1 年の諸活動を振り返り、課題を確認し、次年度の方向性を示すことを通して、皆様に本学をより知っていただき、皆様と本学との新たな接点が生まれ、交流が継続・深化していくことを期待しています。

本誌の編集にあたり各委員会、各附属施設の皆様から多大なご協力を頂きましたことにお礼を申し上げます。また、実質的な作業を担った田村幸恵委員、田淵幸幾主事の労をねぎらいたいと思います。皆様のご協力に感謝申し上げます。

2016 年 9 月 吉日 自己点検・評価委員会 西村真実子